

令和 4 年度

地方独立行政法人東京都立病院機構
業務実績評価書（案）

東 京 都

I 全体評価

1 総 評

法人設立の初年度、第一期中期目標期間の1年目となる令和4年度は、全体として年度計画を上回って実施しており、中期計画の達成に向け優れた業務の進捗状況にある。

○ 高く評価すべき事項

地方独立行政法人東京都立病院機構は、東京都の医療政策として求められる行政的医療の安定的かつ継続的な提供をはじめ、高度・専門的医療の提供及び地域医療の充実への貢献に向けた取組等を推進することにより、都民の健康を守り、その増進に寄与することを役割としている。令和4年度においては、以下の事項をはじめ、その役割を果たしたことを高く評価する。

- ・ 新型コロナウイルス感染症について、重症・中等症の患者や、軽症でも基礎疾患のある患者、小児、妊婦、透析、精神疾患のある患者等を積極的に受け入れたほか、エムボックスや梅毒対応に貢献するなど、公衆衛生上の緊急事態において、都の方針の下、求められる感染症医療を確実に提供した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対応しながらも、各病院が有する医療機能に応じて、精神科身体合併症患者や小児の重症・重篤な患者を積極的に受け入れるなど、行政的医療を着実に提供した。
- ・ 患者・地域サポートセンターを中心に、患者支援や入退院支援、地域連携・在宅療養支援に取り組んだほか、合同カンファレンスの開催や感染管理指導により地域の院内感染対策の向上に寄与するなど、地域医療の充実へ貢献した。
- ・ 独法化のメリットを生かして、柔軟な雇用形態や勤務時間設定等を導入し、職員一人ひとりのライフステージに合わせた働きやすい環境を整備したほか、法人本部と病院が一体となって法人運営の基盤構築に向けて取り組むなど、効率的・効果的な法人運営を目指して取組を推進した。

○ 改善・充実を求める事項

- ・ 行政的医療の提供に加えて、都民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、有識者会議や運営協議会等での意見を踏まえて、地域に必要とされる医療の提供をはじめ、関係機関との連携による地域医療の充実へ貢献がより一層求められる。
- ・ 収支目標について、法人全体の目標値が設定されているが、病院の運営状況の可視化のため、病院ごとに提供する医療の特色等を踏まえた目標値を設定し、その達成に向けて取り組んでほしい。

2 都民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する事項

＜行政的医療や高度・専門的医療等の安定的かつ継続的な提供＞

- ・ がん医療について、症状に応じて様々な治療法を組み合わせながら着実にがん医療を提供したほか、がんゲノム医療や CAR-T 療法等の最新の治療法の推進や通院治療センターにおける待ち時間減少の取組等による患者サービスの向上に取り組んだ。
- ・ 精神疾患医療について、松沢病院をはじめとする各都立病院で、精神科救急患者や精神科身体合併症患者等を積極的に受け入れるとともに、認知症医療や児童・思春期精神科医療等において質の高い医療を提供した。
- ・ 熱中症患者等の増加や救急医療機関のクラスター発生等により、救急医療が逼迫した状況を踏まえて、新型コロナと救急医療の両立を考慮しながら、医療提供体制を確保し、様々な救急患者を着実に受け入れた。また、高齢化に伴い増加が予想される脳血管疾患医療や心疾患医療における体制を整備した。
- ・ 島しょ地域からの救急患者等の受入れを着実に行ったほか、多摩総合医療センターに患者家族宿泊施設を新たに設置するなど島しょ患者やその家族のニーズに応えた。また、5Gを活用した島しょ医療機関への診療支援の開始など、質の高い島しょ医療の提供に向けて取組を進めた。
- ・ 周産期医療について、ハイリスク妊産婦や新生児等に高度で専門的な医療を着実に提供したほか、未受診妊婦など社会的リスクを抱えた妊産婦への優先した対応に加え、新型コロナ陽性妊婦の積極的な受入れを行った。
- ・ 小児医療について、小児がんや小児救急、アレルギー疾患のほか希少疾患や難治性疾患など幅広い疾患に対し専門的な医療を着実に提供した。また、医療的ケア児支援センターを開設し、医療的ケア児及びその家族に対する相談支援等を適切に実施した。

- ・ 感染症医療について、重症・中等症の新型コロナ患者や、コロナが軽症でも基礎疾患のある患者、小児、妊婦、透析、精神疾患のある患者等を積極的に受け入れたほか、エムボックス、梅毒等への対応や、感染管理認定看護師の育成、地域の感染症対応力強化に向けた貢献等、様々な取組を行った。
- ・ 難病医療について、各都立病院で症状に応じた質の高い難病医療を提供したことに加え、専門人材による難病患者の在宅療養に関するケア技術向上支援等により地域の難病医療へ貢献した。
- ・ 障害者医療について、障害者合併症医療や障害者歯科医療を着実に提供したほか、地域への技術支援やレスパイト入院対応、医療的ケア児支援センターでの相談支援等、様々な形で障害者を含む在宅療養患者を支援した。

<災害や公衆衛生上の緊急事態への率先した対応>

- ・ 都の派遣要請に応じて、大規模事故等の都市型災害の現場に東京DMA Tを出動させたほか、新型コロナ対応においては、重症・中等症の患者や、コロナが軽症でも基礎疾患のある患者、小児、妊婦、透析、精神疾患のある患者を積極的に受け入れたほか、高齢者等医療支援型施設の運営や後遺症相談窓口の開設等に取り組むなど、都の方針の下、緊急事態に様々な形で取り組んだ。

<地域医療の充実への貢献、安全で安心できる質の高い医療の提供>

- ・ 院内における感染対策に加えて、地域の医療機関との合同カンファレンスの開催やクラスター発生施設等への感染管理指導を通じて地域における院内感染対策の向上に寄与した。
- ・ 新たに荏原病院が医療の質可視化プロジェクトに参加するなど、質の高い医療の提供に向けて取り組んだ。

3 法人の業務運営及び財務状況に関する事項

- ・ 地方独立行政法人制度のメリットである人事や予算の弾力的な運用等による効率的・効果的な体制を構築したほか、令和5年度も見据えながら、法人運営の基盤構築に向けて新たに4つのプロジェクトを推進した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に伴う収入計上や令和4年度診療報酬改定への対応等により、経常収支比率が104.1%であった。加えて、キャッシュレス化の推進による未収金の発生防止等の収入の確保や、スケールメリットを生かした共同購入の取組や独法化のメリットを生かした多様な契約手法の活用による費用の節減に向けた取組を推進した。

4 その他

(中期目標・中期計画の達成に向けた課題、法人への要望など)

- ・ 地方独立行政法人化の初年度である令和4年度は、新型コロナをはじめとした行政的医療の提供や、地方独立行政法人制度のメリットを生かした体制整備等に着実に取り組んだところである。今後、第一期中期目標・中期計画の達成に向けて、都立病院の役割を踏まえつつ、都民や地域医療機関等から寄せられるニーズ等に柔軟に答えていくために、職員一人ひとりが有する専門性を発揮しながら、一丸となって取組を進めていただきたい。

Ⅱ 項目別評価

項目別評価に当たっては、法人から提出された業務実績等報告書の検証を踏まえ、事業の進捗状況及び成果について、年度計画の評価項目ごとに以下の5段階で評価を行った。

評 定	S … 年度計画を大幅に上回って実施している A … 年度計画を上回って実施している B … 年度計画を概ね順調に実施している C … 年度計画を十分に実施できていない D … 業務の大幅な見直し、改善が必要である
--------	---

項目別評定総括表

中期目標を達成するためにとるべき措置	年度評価					中期目標 期間評価	評定 説明	備考
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度			
第1 都民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置								
1 行政的医療や高度・専門的医療等の 安定的かつ継続的な提供								
(1) 行政的医療の安定的かつ継続的な提供								
(2) 各医療の提供								
ア がん医療	A						1	
イ 精神疾患医療	A						2	
ウ 救急医療	A						3	
エ 災害医療	B						4	
オ 島しょ医療	A						5	
カ 周産期医療	A						6	
キ 小児医療	S						7	
ク 感染症医療	S						8	
ケ 難病医療	A						9	
コ 障害者医療	A						10	
サ 総合診療の提供	B						11	
シ その他の行政的医療、高度・専門的 医療等の提供	B						12	
2 災害や公衆衛生上の緊急事態への率先 した対応								
(1) 災害医療における緊急事態への対応	S						13	
(2) 感染症医療における緊急事態への対応								
3 地域医療の充実への貢献								
(1) 地域包括ケアシステム構築に向けた 取組	B						14	
(2) 健康増進及び疾病予防に向けた普及 啓発	B						15	
4 安全で安心できる質の高い医療の提供								
(1) 患者中心の医療の推進	B						16	
(2) 質の高い医療の提供	A						17	
5 診療データの活用及び臨床研究・治験 の推進	B						18	

中期目標を達成するためにとるべき措置	年度評価					中期目標 期間評価	評定 説明	備考
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度			
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置								
1 効率的・効果的な法人運営体制の構築	A						19	
2 人材の確保・育成								
3 効率的・効果的な業務運営								
(1) 働きやすい勤務環境の整備								
(2) 弾力的な予算執行								
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置								
1 財務内容の改善	A						20	
(1) 収入の確保								
(2) 適切な支出の徹底								
第10 その他業務運営に関する重要事項								
1 病院運営におけるDXの推進	B						21	
2 施設・設備の整備								
3 適正な業務運営の確立								
(1) 情報セキュリティ・個人情報保護の徹底								
(2) コンプライアンスの推進								
4 外部からの意見聴取								

第1 都民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 行政的医療や高度・専門的医療等の安定的かつ継続的な提供

(2) 各医療の提供

各病院等の医療機能に応じて、他の医療機関等との適切な役割分担と密接な連携のもと、次のとおり医療を提供する。

項目	年度計画
1	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>ア がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の機能に応じて、手術や放射線治療、薬物療法等を組み合わせた集学的治療を推進し、質の高いがん医療を提供する。 ○ 先進的な医療機器を活用して、低侵襲なロボット支援下手術を推進する。 ○ I M R T（強度変調放射線治療装置）や定位放射線治療などにより、高精度な放射線治療を提供する。 ○ 化学療法や分子標的療法等を推進し、症状に応じた質の高い薬物療法を提供する。 ○ がん患者の苦痛を和らげ、自分らしくあることを支援するために、多職種チームによる専門的で、患者・家族のQOLを高める緩和ケアを提供する。 ○ がん治療の現状について、低侵襲性など様々な観点から検証し、最先端のがん治療の方向性を検討する ○ がんの遺伝子情報から遺伝子変異を明らかにすることにより、標準治療では効果が得られないがん患者等に対して、一人ひとりの体質や病状に合わせたがんゲノム医療を提供する。 ○ 難治性の白血病や悪性リンパ腫、希少な軟部肉腫などのがんに対して、最適な治療を提供する。 ○ 再発がん、合併症を有するがん患者等に対し、総合診療基盤を活用しながら、多職種によるチーム医療を推進し、高度かつ専門性の高い医療を提供する。 ○ 治療ステージに応じた最適な造血幹細胞移植を実施するとともに、移植後患者の長期フォローアップ体制の確立に向けて各医療機関との連携を推進する。 ○ A Y A世代のがん患者に応じた最適ながん医療を提供するとともに、患者の就学、就労などライフステージに応じた多様な相談支援を実施する。 ○ 病気に関連した情報提供、退院後の仕事と治療の両立や介護保険などのサービスに関する相談、心の相談などを行うことにより、患者・家族の治療前から退院後の生活までをサポートする。 ○ 東京都立がん検診センターにおいて、内視鏡やC Tによる低侵襲な検査等を推進し、高度で精度の高い精密検診を実施するとともに、きめ細やかな検診コースを設定し、多様化する検診ニーズに対応する。

目標値（令和4年度）

がん手術件数

病院名	目標値（件）
東京都立駒込病院	3,091
東京都立豊島病院	215
東京都立荏原病院	59
東京都立墨東病院	738
東京都立多摩総合医療センター	753
東京都立多摩北部医療センター	463
東京都立東部地域病院	134
東京都立多摩南部地域病院	110

IMRT・定位放射線治療件数

病院名	目標値（件）
東京都立駒込病院	10,125
東京都立墨東病院	1,865
東京都立多摩総合医療センター	3,343
東京都立多摩北部医療センター	1,786

外来化学療法件数

病院名	目標値（件）
東京都立駒込病院	10,500
東京都立豊島病院	874
東京都立荏原病院	511
東京都立墨東病院	5,258
東京都立多摩総合医療センター	2,000
東京都立多摩北部医療センター	1,622
東京都立東部地域病院	973
東京都立多摩南部地域病院	783

精密検診受診者数

病院名	目標値（人）
東京都立がん検診センター	23,735

評 定 : A（年度計画を上回って実施している）

- 手術支援ロボットの活用など患者の負担が少ない低侵襲な手術に努めるとともに、放射線治療では多摩総合医療センターでIMRT（強度変調放射線治療）の適応疾患を拡大するなど、症状に応じて様々な治療法を組み合わせながら、質の高いがん医療を着実に提供した。
 - 薬物療法についても安全性を担保しながら積極的に実施した。また、例えば墨東病院の通院治療センターでは、増床による待ち時間の減少等の患者サービスの向上や、毎週金曜日夜間の運用時間延長等による患者の治療と仕事の両立にも寄与した。
 - 墨東病院における遺伝カウンセリング外来の開始や多摩総合医療センターと大学との連携による治験参加の推進に取り組むなど、患者一人ひとりの体質や病状に合わせたがんゲノム医療を提供したほか、造血幹細胞移植やCAR-T療法を着実に実施し、高度で専門的ながん医療を提供した。
 - 多職種からなるチーム医療により、入院や転退院における相談支援、緩和ケアチームによる介入、AYA世代のがん患者に対する支援など、患者やその家族への切れ目のないサポートを行った。
 - がん検診センターでは、内視鏡やCTによる低侵襲で高精度の精密検診を実施した。コロナ禍での受診控えの影響もあり精密検診受診者数は目標値に届かなかったものの、医師同行の医療機関訪問の実施や多様な媒体における情報発信等により、患者受診につなげる取組を行った。
- ⇒ 新型コロナ対応の影響があるが、症状に応じて様々な治療法を組み合わせながら着実にがん医療を提供したほか、がんゲノム医療やCAR-T療法等の最新の治療法の推進や患者サービスの向上に取り組んだことは高く評価できる。

項目	年度計画																																
2	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>イ 精神疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の機能に応じて、症状に応じた質の高い精神疾患医療を提供する。 ○ 東京都精神科夜間休日診療事業に参画し、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）に基づく緊急措置入院等に着実に対応する。 ○ 東京都精神科身体合併症医療事業に参画し、身体疾患を有する精神疾患患者に対して、精神科と他の専門診療科が協働して治療にあたりるとともに各病院との連携により、最適な治療を提供する。 ○ 東京都立松沢病院において、アルコール依存症等の患者に、専門的で質の高い治療を提供するとともに、依存症からの回復に向けたデイケアを提供する。 ○ 認知症の鑑別診断と治療、認知症に伴う行動や合併症に対する適切な治療を提供するとともに、患者と家族に対する専門相談を行い、地域における療養生活を支援する。 ○ 児童・思春期の精神疾患に対して適切な治療を提供するとともに、発症や重症化の予防に向けた早期介入・早期支援に取り組む。 ○ 隔離や拘束等の行動制限の最小化などに取り組み、患者の権利擁護を推進する。 ○ 地域の医療機関や訪問看護ステーション等と連携し、多職種による多様な相談支援を実施して、入院患者の地域移行・定着を積極的に支援する。 ○ 患者の早期回復、社会生活への円滑な復帰に向け、幅広い年齢層を対象としたデイケアをはじめとする多彩な外来プログラムを提供する。 ○ 東京都立松沢病院において、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（平成 15 年法律第 110 号）に基づき入院・通院が決定した患者に対して、専門的な精神疾患医療を提供し、社会復帰に向けた継続的な支援を行う。 <p>目標値（令和 4 年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">東京都精神科夜間休日診療事業による搬送患者数</th> <th colspan="2" style="text-align: left;">精神科身体合併症患者数（新入院）</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京都立豊島病院</td> <td style="text-align: center;">122</td> <td>東京都立広尾病院</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>東京都立墨東病院</td> <td style="text-align: center;">157</td> <td>東京都立豊島病院</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>東京都立多摩総合医療センター</td> <td style="text-align: center;">170</td> <td>東京都立荏原病院</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>東京都立松沢病院</td> <td style="text-align: center;">375</td> <td>東京都立墨東病院</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>東京都立多摩総合医療センター</td> <td style="text-align: center;">41</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>東京都立松沢病院</td> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> </tbody> </table>	東京都精神科夜間休日診療事業による搬送患者数		精神科身体合併症患者数（新入院）		病院名	目標値（人）	病院名	目標値（人）	東京都立豊島病院	122	東京都立広尾病院	8	東京都立墨東病院	157	東京都立豊島病院	11	東京都立多摩総合医療センター	170	東京都立荏原病院	3	東京都立松沢病院	375	東京都立墨東病院	6			東京都立多摩総合医療センター	41			東京都立松沢病院	300
	東京都精神科夜間休日診療事業による搬送患者数		精神科身体合併症患者数（新入院）																														
病院名	目標値（人）	病院名	目標値（人）																														
東京都立豊島病院	122	東京都立広尾病院	8																														
東京都立墨東病院	157	東京都立豊島病院	11																														
東京都立多摩総合医療センター	170	東京都立荏原病院	3																														
東京都立松沢病院	375	東京都立墨東病院	6																														
		東京都立多摩総合医療センター	41																														
		東京都立松沢病院	300																														

評 定 : A (年度計画を上回って実施している)

- 精神科救急医療について、東京都精神科夜間休日救急診療事業は都からの依頼に基づいて対応するものであり、緊急措置入院等への対応を着実にを行うとともに、精神科身体合併症医療について、新型コロナ陽性の精神疾患患者に対応しながらも積極的に患者受入れを行うなど、精神疾患医療を着実に提供した。
- アルコール依存症医療について、松沢病院において専門外来や入院、デイケア、社会復帰支援など切れ目のない支援に加え、普及啓発の活動にも積極的に取り組むなど拠点的な役割を果たし、令和5年3月にアルコール健康障害の東京都依存症専門医療機関（都内9病院）及び依存症治療拠点機関（同1病院）に選定された。
- 東京都認知症疾患医療センター（地域拠点型）に指定されている松沢病院や荏原病院をはじめとして、各都立病院で「もの忘れ外来」等による診療や療養支援のほか、入院中の認知症患者に対する精神科リエゾンチームや認定看護師等によるケアを実施し、専門的な認知症医療を提供した。
- 児童・思春期の精神疾患患者の着実な受入れを行うとともに、発症や重症化の予防に向けた早期介入・早期支援に取り組んだ。また、コロナ禍以降増加しているとされる子どもの摂食障害や、限局性学習症の診断と療養指導の開始等についても、院内各部門の連携のもと対応した。
- 地域の訪問看護ステーション等との連携により退院前カンファレンスや看護師同行支援等を行ったほか、松沢病院において多職種によるプロジェクトチーム「リカバリー松沢」を立ち上げ、精神的な不安定さや医療中断リスクを持った患者一人ひとりに合わせた支援を行うなど、入院患者の地域移行・定着支援を推進した。
 - ⇒ 松沢病院をはじめとする各都立病院において、新型コロナ陽性の精神疾患患者や精神科身体合併症患者等を積極的に受け入れるとともに、認知症医療や児童・思春期精神科医療等において質の高い医療を提供したことは高く評価できる。

項目	年 度 計 画																																																		
3	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>ウ 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の医療機能に応じ、東京ERの運営などの救急医療体制を確保し、総合的な救急医療を着実に提供する。 ○ 二次救急医療（休日・全夜間診療）を担う病院において、急性期疾患や外傷等に対する診断、救急処置及び必要な検査に24時間対応し、入院治療を必要とする中等症及び重症の救急患者の積極的な受入れを推進する。 ○ 三次救急医療を担う病院において、広範囲熱傷、四肢切断、急性中毒など、他の医療機関では対応が困難な生命の危機を伴う重篤患者の着実な受入れを推進する。 ○ 急性大動脈スーパーネットワークや東京都CCUネットワークへの参画を通じて、急性心筋梗塞をはじめとする急性心血管疾患に対し、適切な医療を提供する。 ○ 脳血管疾患について、発症が疑われる患者や迅速かつ適切な急性期治療を必要とする患者に対して適切な医療を提供する。 ○ 精神科身体合併症患者や小児の重症患者など一般医療機関では対応が難しい専門性の高い救急医療を積極的に提供する。 <p>目標値（令和4年度）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>救急入院患者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>2,666</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>1,256</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>2,512</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>1,220</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>2,089</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>1,455</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>6,689</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>4,560</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>1,973</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>1,533</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>1,900</td></tr> </tbody> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>救急車搬送患者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>2,568</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>1,519</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>3,005</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>1,189</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>2,321</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>3,078</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>4,817</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>5,726</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>2,127</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>2,485</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>2,129</td></tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table>	<p>救急入院患者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>2,666</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>1,256</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>2,512</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>1,220</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>2,089</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>1,455</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>6,689</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>4,560</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>1,973</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>1,533</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>1,900</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（人）	東京都立広尾病院	2,666	東京都立大久保病院	1,256	東京都立大塚病院	2,512	東京都立駒込病院	1,220	東京都立豊島病院	2,089	東京都立荏原病院	1,455	東京都立墨東病院	6,689	東京都立多摩総合医療センター	4,560	東京都立多摩北部医療センター	1,973	東京都立東部地域病院	1,533	東京都立多摩南部地域病院	1,900	<p>救急車搬送患者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>2,568</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>1,519</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>3,005</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>1,189</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>2,321</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>3,078</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>4,817</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>5,726</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>2,127</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>2,485</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>2,129</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（人）	東京都立広尾病院	2,568	東京都立大久保病院	1,519	東京都立大塚病院	3,005	東京都立駒込病院	1,189	東京都立豊島病院	2,321	東京都立荏原病院	3,078	東京都立墨東病院	4,817	東京都立多摩総合医療センター	5,726	東京都立多摩北部医療センター	2,127	東京都立東部地域病院	2,485	東京都立多摩南部地域病院	2,129
<p>救急入院患者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>2,666</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>1,256</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>2,512</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>1,220</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>2,089</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>1,455</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>6,689</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>4,560</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>1,973</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>1,533</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>1,900</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（人）	東京都立広尾病院	2,666	東京都立大久保病院	1,256	東京都立大塚病院	2,512	東京都立駒込病院	1,220	東京都立豊島病院	2,089	東京都立荏原病院	1,455	東京都立墨東病院	6,689	東京都立多摩総合医療センター	4,560	東京都立多摩北部医療センター	1,973	東京都立東部地域病院	1,533	東京都立多摩南部地域病院	1,900	<p>救急車搬送患者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>2,568</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>1,519</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>3,005</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>1,189</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>2,321</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>3,078</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>4,817</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>5,726</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>2,127</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>2,485</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>2,129</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（人）	東京都立広尾病院	2,568	東京都立大久保病院	1,519	東京都立大塚病院	3,005	東京都立駒込病院	1,189	東京都立豊島病院	2,321	東京都立荏原病院	3,078	東京都立墨東病院	4,817	東京都立多摩総合医療センター	5,726	東京都立多摩北部医療センター	2,127	東京都立東部地域病院	2,485	東京都立多摩南部地域病院	2,129		
病院名	目標値（人）																																																		
東京都立広尾病院	2,666																																																		
東京都立大久保病院	1,256																																																		
東京都立大塚病院	2,512																																																		
東京都立駒込病院	1,220																																																		
東京都立豊島病院	2,089																																																		
東京都立荏原病院	1,455																																																		
東京都立墨東病院	6,689																																																		
東京都立多摩総合医療センター	4,560																																																		
東京都立多摩北部医療センター	1,973																																																		
東京都立東部地域病院	1,533																																																		
東京都立多摩南部地域病院	1,900																																																		
病院名	目標値（人）																																																		
東京都立広尾病院	2,568																																																		
東京都立大久保病院	1,519																																																		
東京都立大塚病院	3,005																																																		
東京都立駒込病院	1,189																																																		
東京都立豊島病院	2,321																																																		
東京都立荏原病院	3,078																																																		
東京都立墨東病院	4,817																																																		
東京都立多摩総合医療センター	5,726																																																		
東京都立多摩北部医療センター	2,127																																																		
東京都立東部地域病院	2,485																																																		
東京都立多摩南部地域病院	2,129																																																		

評 定 : A (年度計画を上回って実施している)

- 新型コロナ対応との両立を考慮しながら、夏の熱中症患者等の増加や救急医療機関のクラスター発生等による、地域の救急医療のニーズに臨機応変に対応し、着実に救急患者を受け入れた。また、患者受入れにあたり、救急救命士の活用により医師や看護師等の負担軽減を図るなど、救急医療提供体制を確保した。
 - 高齢化に伴い増加が予想される脳血管疾患医療や心疾患医療について、急性大動脈スーパーネットワーク及び東京都CCUネットワークに参画し積極的に患者を受け入れたほか、院内における連携フローの整備や全身の血管病の包括的治療を行うための部門の設置など、医療提供体制を確保した。
 - 一般医療機関では対応が難しい、精神科身体合併症患者の受入れや小児の重症・重篤患者等の救命救急など、専門性の高い救急医療を提供した。
- ⇒ 救急医療が逼迫した状況を踏まえて、新型コロナと救急医療の両立を考慮しながら、医療提供体制を確保し、精神科身体合併症患者や小児の患者を含め着実に救急患者を受け入れた。また、高齢化に伴い増加が予想される脳血管疾患医療や心疾患医療における体制を整備したことは高く評価できる。

項目	年 度 計 画
4	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>工 災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都の方針を踏まえ、基幹災害拠点病院や地域災害拠点中核病院など各病院の役割に応じて災害時に求められる医療を適切に提供する。 ○ 発災後も診療機能を維持できるよう、医薬品や診療材料等の備蓄等を適切に行う。 ○ 東京都立広尾病院における減災対策の取組等を法人内で共有するとともに、災害医療の指導者育成や総合防災訓練等を通じて、各病院等の災害対応力の強化を図る。 ○ 大規模災害等の発生に備え、指定病院においてDMAT隊員やDPAT隊員を養成するとともに、都の派遣要請に着実に対応する。 ○ 各病院で医療救護班を編成し、都の派遣要請に着実に対応する。 ○ 自治体や関係機関と連携した研修や合同防災訓練等の実施により、連携体制を強化するとともに、減災対策の普及啓発に取り組み、地域の災害対応力の向上を図る。
<p>評 定 : B (年度計画を概ね順調に実施している)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 都立病院機構医療危機管理ネットワーク運用委員会を通じて、基幹災害拠点病院である広尾病院の減災対策の取組等を病院間で共有したほか、各都立病院における総合防災訓練や法人本部主催の研修・訓練等により法人全体の災害対応力の強化を図った。 ○ 大規模災害等の発生に備え、DMAT隊員やDPAT隊員、医療救護班等の養成を進めるとともに、都の派遣要請に応じてDMAT隊員が大規模事故等の現場に出動するなど、都の災害医療に貢献した。 ○ 地域の自治体や関係機関と連携して研修や合同防災訓練等を実施したほか、駒込病院では荒川区と災害時における重傷者等の受入れに関する協定を締結するなど、地域の災害対応力の向上に貢献した。 <p>⇒ 大規模災害等の発生に備え、法人本部と各都立病院で連携した総合防災訓練や研修の実施や、DMAT隊員や医療救護班の養成等を通じて法人全体の災害対応力を強化するとともに、地域の自治体や関係機関と連携して地域の災害対応力向上を図ったことは評価できる。引き続き、災害発生に備えた平時からの取組を継続・強化してほしい。</p>	

項目	年 度 計 画				
5	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>才 島しょ医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都立広尾病院における屋上ヘリポートの24時間運用などにより島しょ地域の救急患者を着実に受け入れるとともに、各病院が連携して質の高い島しょ医療を提供する。 ○ 東京都立広尾病院において島しょ地域の患者や付き添いの家族等が来院した際に利用できる患者家族宿泊施設を運営し、島しょ地域の患者やその家族のニーズに対応する。 ○ 東京都立広尾病院の画像伝送システムによる遠隔画像診断支援を行い、島しょの医療機関の診療を支援するとともに、島しょ地域への5G回線を利用した遠隔診療の導入について支援する。 ○ WEB研修の実施などにより、島しょ地域で働く看護師等の医療人材の育成に貢献する。 ○ 島しょの医療機関のニーズを踏まえながら、看護師等を派遣して教育支援を行うとともに、診療所等との退院支援WEBカンファレンスを行うなどにより、島しょ地域の医療機関等との連携を強化し、退院（帰島）後の療養生活への円滑な移行を着実に支援する。 <p>目標値（令和4年度）</p> <p>島しょ新入院患者数</p> <table border="1" data-bbox="338 994 871 1066"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>目標値（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京都立広尾病院</td> <td>931</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（人）	東京都立広尾病院	931
病院名	目標値（人）				
東京都立広尾病院	931				

評 定 : A（年度計画を上回って実施している）

- 広尾病院において島しょ地域の救急患者の受入れにあたり屋上ヘリポートを24時間運用するなど、島しょから都内医療機関への救急患者搬送について、全体の約9割を都立病院で受け入れた。
 - 島しょ地域の患者や付き添いの家族等が来院した際に利用できる患者家族宿泊施設について、広尾病院での運用に加え令和5年2月に多摩総合医療センターで新たに設置し、島しょ患者やその家族のニーズに対応した。
 - 画像伝送システムによる遠隔画像診断支援に加え、5Gを活用して町立八丈病院から送信された超音波映像を広尾病院の医師がリアルタイムに確認し、助言を行う診療支援を開始した。また、神津島や三宅島、式根島、青ヶ島の診療所の医療従事者延べ89名に対するWEB研修を行うなど、島しょ地域との医療連携や人材育成を推進した。
 - 島しょ地域の医療機関等と退院支援WEBカンファレンスを実施することで連携を強化し、退院（帰島）後の療養生活への円滑かつ着実な移行を支援した。
- ⇒ 島しょ地域からの救急患者等の受入れを着実に行ったほか、多摩総合医療センターに患者家族宿泊施設を新たに設置するなど島しょ患者やその家族のニーズに応えた。また、5Gを活用した島しょ医療機関への診療支援の開始など、質の高い島しょ医療の提供に向けて取組を進めたことは高く評価できる。

項目	年 度 計 画
----	---------

6

(2) 各医療の提供

力 周産期医療

- 各病院の機能に応じて、質の高い周産期医療を提供する。
- 地域の医療機関との連携を強化しながら、ハイリスク妊産婦や新生児等に対して高度で専門的な周産期医療を提供する。
- 地域の医療機関との役割分担を進め、分娩や緊急時には各病院が対応を行うセミオープンシステムを一層推進する。
- 母体救命対応総合周産期母子医療センターにおいて、救命救急センターと産科、新生児科等が連携し、緊急に母体救命処置が必要な妊産婦等を確実に受け入れる。
- 一般医療機関では対応が難しい未受診妊婦や精神疾患合併母体の周産期管理など様々なリスクを抱えた妊産婦に適切な医療等を提供する。
- 自治体や地域の関係機関との連携を強化するとともにソーシャルワーカーや心理士等のチームにより、社会的な支援を必要とする妊産婦に対する相談支援体制を充実する。
- 在宅医療を担う地域の医療機関や訪問看護ステーション等への技術支援やネットワーク強化に取り組み、NICU等での治療を終えた入院児の在宅療養への移行を推進する。
- 母子の円滑な退院を支援するコーディネーターを配置し、入院早期からの退院支援に取り組む。

目標値（令和4年度）

母体搬送受入件数

病院名	目標値（件）
東京都立大塚病院	105
東京都立墨東病院	141
東京都立多摩総合医療センター	156
東京都立小児総合医療センター	

超低出生体重児取扱件数

病院名	目標値（件）
東京都立大塚病院	16
東京都立墨東病院	27
東京都立多摩総合医療センター	32
東京都立小児総合医療センター	

評 定 : A (年度計画を上回って実施している)

- 新型コロナ陽性妊婦の積極的な受入れに加えて、母体救命対応総合周産期母子医療センターにおける緊急に母体救命処置が必要な妊産婦等の受入れや超低出生体重児への対応など、ハイリスクの妊産婦や新生児等に高度で専門的な周産期医療を提供した。
 - 一般医療機関では対応が難しい未受診妊婦や精神疾患を合併している妊産婦等の受入れを率先して行うとともに、社会的支援が必要な妊産婦に対して助産師や医療ソーシャルワーカーなどの多職種による相談支援等を行った。
 - 在宅医療を担う地域の医療機関や訪問看護ステーション等への技術支援やネットワークの強化に取り組むとともに、NICU入院児支援コーディネーターを配置し入院早期からの退院支援を行うなど、地域と連携してNICU等での治療を終えた入院児の円滑な退院や在宅移行に貢献した。
- ⇒ 新型コロナ陽性妊婦を積極的に受け入れたことに加え、ハイリスク妊産婦や新生児等に高度で専門的な医療を着実に提供したほか、未受診妊婦など社会的リスクを抱えた妊産婦への対応を率先して行ったことは高く評価できる。

項目	年 度 計 画												
7	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>キ 小児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の機能に応じて、症状に応じた質の高い小児医療を適切に提供する。 ○ 小児がんや小児慢性特定疾病、脳神経・筋疾患など希少疾患や難治性疾患に対して、先進的かつ専門性の高い小児医療を適切に提供する。 ○ 東京都立小児総合医療センターにおいて、呼吸器や循環器系疾患をはじめとする重症・重篤な患者を積極的に受け入れ、高度で専門的な小児医療を提供する。 ○ AYA世代の患者に適切な医療を提供するとともに、同世代が交流できるよう専用病床の整備を進めるなど、患者が安心して治療が受けられる体制を整備する。 ○ AYA世代の患者や家族の不安や悩み、疑問等の解消に向けて、就学や就労などライフステージに応じた多様な相談支援を実施する。 ○ 東京都立小児総合医療センターにおいて、東京都立多摩総合医療センター等と連携しながら、患者の成長に合わせた移行期医療を適切に提供するとともに、移行期医療に取り組む医療機関に対する研修や相談支援等を実施して関係機関とのネットワーク構築を推進する。 ○ 児童・思春期の精神疾患に対して適切な治療を提供するとともに、発症や重症化の予防に向けた早期介入・早期支援に取り組む。 ○ 地域の医療機関等との連携を強化し、医療的ケア児の急変時の受入やレスパイト入院に着実に対応する。 ○ 地域のニーズに応じて、認定看護師等を地域の医療機関等に派遣し、医療的ケア児の在宅移行支援に必要なノウハウを提供する。 ○ 東京都立小児総合医療センター、東京都立多摩北部医療センター、東京都立多摩南部地域病院が連携して、多摩地域における医療的ケア児の受入体制の整備や円滑な在宅移行に向けた支援体制の構築について検討を進める。 <p>目標値（令和4年度）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="border: none;">救急患者数(小児)</td> <td colspan="2" style="border: none;">P I C U新入室患者数（院内転棟除く）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">病院名</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">目標値（人）</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">病院名</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">目標値（人）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">東京都立小児総合医療センター</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">2,450</td> <td style="border: 1px solid black;">東京都立小児総合医療センター</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">570</td> </tr> </table>	救急患者数(小児)		P I C U新入室患者数（院内転棟除く）		病院名	目標値（人）	病院名	目標値（人）	東京都立小児総合医療センター	2,450	東京都立小児総合医療センター	570
救急患者数(小児)		P I C U新入室患者数（院内転棟除く）											
病院名	目標値（人）	病院名	目標値（人）										
東京都立小児総合医療センター	2,450	東京都立小児総合医療センター	570										

評 定 : S (年度計画を大幅に上回って実施している)

- 各都立病院で小児の新型コロナ患者を積極的に受け入れた。また、小児総合医療センターで、小児がん医療、小児救急医療、アレルギー疾患医療など、様々な小児専門医療を提供したほか、神経病院では、脳神経系の小児慢性特定疾病や希少疾患・難治性疾患に対する先進的かつ専門性の高い小児医療を提供した。
 - 小児総合医療センターでは、東京都こども救命センターとして、365日24時間体制で総合的な救急医療サービスを提供する「東京ER・多摩(小児)」を運営し、呼吸器や循環器系疾患をはじめとする重症・重篤な患者等を積極的に受け入れた。
 - 小児総合医療センターでは、AYA世代のがん患者に対して、院内患者への相談支援等に加えて、AYA世代がん相談情報センター(都受託事業)においては他院の患者・家族も含めて相談支援を実施し、就学や就労など患者のライフステージに応じた支援を行った。
 - 小児医療から成人医療の円滑な移行に向けて、小児総合医療センターが多摩総合医療センター等と連携しながら、患者の成長に合わせて、成人医療機関への転科を目標に移行期看護外来における自立支援を行ったほか、東京都移行期医療支援センターとして、医療機関に対する相談支援等を実施し、関係機関とのネットワーク構築を推進した。
 - 医療的ケア児の急変時の受入れやレスパイト入院に積極的に対応したほか、東京都医療的ケア児支援センター(令和4年9月開設、都受託事業)で、医療的ケア児の在宅療養への円滑な移行に向けて、医療的ケア児やその家族が、児の心身の状況に応じた適切な支援を受けられるよう相談支援を行った。
- ⇒ 小児の新型コロナ患者の受入れを行いながら、小児がんや小児救急、アレルギー疾患のほか希少疾患や難治性疾患など幅広い疾患に対し専門的な医療を着実に提供した。また、医療的ケア児支援センターを開設し、医療的ケア児及びその家族に対する相談支援等を適切に実施したことは大いに評価できる。

項目	年 度 計 画
8	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>ク 感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都が行う感染症対策を踏まえながら、各病院の感染症医療提供体制を整備し、各病院の役割に応じた感染症医療を着実に提供する。 ○ 感染症専門医を安定的に確保するとともに、他の医療機関等と連携して感染症や合併する症状に対応できる総合診療医を育成する。 ○ 感染管理認定看護師などの専門性を有する看護師を安定的に確保・育成する。 ○ 職員の感染症対応力を段階的に向上させる育成プログラムを策定し、有事の際に即戦力となる看護師等の育成に取り組み、法人全体の感染症対応力の強化を図る。 ○ 都や保健所、地域の医療機関等の関係機関との連携を強化し、患者受入訓練の実施や地域ニーズに応じて職員を派遣し感染管理に関する指導・助言等を行うなど、地域の感染症対応力の強化に貢献する。
<p>評 定 : S (年度計画を大幅に上回って実施している)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナ対応については、各都立病院の有する機能や役割に応じて、重症・中等症の患者や、コロナが軽症でも基礎疾患のある患者、小児、妊婦、透析、精神疾患のある患者等を積極的に受け入れた。また、オミクロン株の特性を踏まえ、重症化リスクの高い高齢者への対応力を強化するため、都との協定に基づき、高齢者等医療支援型施設(府中)を運営し、介護が必要な多くの高齢患者を受け入れた。 ○ エムボックス(サル痘)の相談対応及び診療体制の整備や、「東京都とくべつ検査(梅毒即日検査)」へのスタッフ派遣、HIV患者の診療等、新型コロナ以外の感染症にも都の方針の下で対応した。 ○ 駒込病院と多摩北部医療センターの看護師が新たに感染管理認定看護師の認定を受けるなど、専門人材の確保・育成に取り組んだ。 ○ 地域医療機関等に対し、訪問等により感染管理指導を行い、地域の感染症対応力の強化に貢献した。さらに、施設等でのクラスター発生時には、患者の積極的な受入れや職員の派遣、施設内での感染状況も踏まえた感染管理指導等を実施し、地域医療へ貢献した。 <p>⇒ 新型コロナ対応について、重症・中等症の患者や、コロナが軽症でも基礎疾患のある患者、小児、妊婦、透析、精神疾患のある患者等を積極的に受け入れたほか、エムボックス、梅毒等への対応や、感染管理認定看護師の育成、地域の感染症対応力強化に向けた貢献等、様々な取組を行ったことは大いに評価できる。</p>	

項目	年 度 計 画												
9	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>ケ 難病医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の機能に応じて、症状に応じた質の高い難病医療を提供する。 ○ 脳・神経系難病やリウマチ・膠原病系難病、特定内臓系難病等に対して、高度で専門的な難病医療を着実に提供する。 ○ 東京都立神経病院において、ALS（筋萎縮性側索硬化症）やてんかんなどの疾患別センターを運営し、診断から症状に応じた治療、在宅療養に至るまで一貫した専門性の高い難病医療を提供するとともに、心理的ケアや地域生活のフォローを含む包括的診療を提供する。 ○ 東京都立神経病院にパーキンソン病・運動障害疾患センターを開設し、デバイス補助療法などの専門外来や運動療法、栄養指導などの総合的な難病医療を提供する。 ○ 就労・就学と治療の両立など、患者の様々なニーズに応じた相談支援を実施する。 ○ 地域の医療機関等のニーズに応じた研修・講演会等の開催や、摂食・嚥下障害等に関する専門人材の派遣などにより、地域における難病患者の在宅療養に関するケア技術の向上を支援する。 <p>目標値（令和4年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">ALSセンター介入率</th> <th colspan="2" style="text-align: left;">てんかん手術件数</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（%）</th> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京都立神経病院</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td>東京都立神経病院</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> </tbody> </table>	ALSセンター介入率		てんかん手術件数		病院名	目標値（%）	病院名	目標値（件）	東京都立神経病院	30	東京都立神経病院	29
ALSセンター介入率		てんかん手術件数											
病院名	目標値（%）	病院名	目標値（件）										
東京都立神経病院	30	東京都立神経病院	29										

評 定 : A（年度計画を上回って実施している）

- 難病診療連携拠点病院及び難病医療協力病院として東京都難病医療ネットワークに貢献するなど、各都立病院において症状に応じた質の高い難病医療を提供した。
 - 神経病院において、「パーキンソン病・運動障害疾患センター」を令和4年7月に開設したほか、「ALS/MNDセンター」、「てんかん総合治療センター」を運営し、多職種チームによる入院患者へのサポートやてんかん手術等に積極的に取り組んだ。
 - また、駒込病院においてキャスルマン病・TAFRO症候群地域中核病院として他院からの症例受入れや講演等を実施した。
 - 神経病院において、東京都多摩難病相談・支援室（都受託事業）や患者・地域サポートセンターで難病療養相談や就労相談を行うなど、患者の様々なニーズに応じた相談支援を実施したほか、地域の医療機関等のニーズに応じた研修・講演会等の開催や新たに訪問看護ステーションへの看護師派遣を行うなど、専門人材による難病患者の在宅療養に関するケア技術向上支援等に取り組んだ。
- ⇒ 各都立病院で症状に応じた質の高い難病医療を提供したほか、都の神経難病の拠点である神経病院において、疾患領域別に3つのセンターを運営し多職種チームによる入院患者へのサポートやてんかん手術等に積極的に取り組むなど、質の高い難病医療を提供した。加えて、新たに訪問看護ステーションへの看護師派遣を行うなど、専門人材による難病患者の在宅療養に関するケア技術向上支援等により地域の難病医療へ貢献したことは高く評価できる。

項目	年 度 計 画
10	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>コ 障害者医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の機能に応じて、高度で専門性の高い総合診療基盤を生かした障害者の合併症医療や障害者歯科医療等を適切に提供する。 ○ 地域の医療機関や訪問看護ステーション等への技術支援やネットワークの強化、在宅療養患者の急変・増悪時の受入れ等に着実に対応する。 ○ 地域の医療機関と連携し、在宅療養に移行した障害児者のレスパイトに対応する。
<p>評 定 : A (年度計画を上回って実施している)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都精神科身体合併症医療事業に参画し、精神科と身体科の連携や病院間での連携を通じて精神科身体合併症医療を提供したほか、障害者歯科医療について、地域の医療機関等と連携しながら、着実に医療を提供した。 ○ 認定看護師による出張出前講座や訪問看護同行支援、公開講座の開催など、訪問看護ステーション等への技術支援や連携強化に取り組み、障害者を含む在宅療養患者を支援した。 ○ 東京都在宅難病患者一時入院事業や重症心身障害児等在宅療育支援事業に参画する等、在宅療養に移行した障害児者のレスパイト入院に対応した。 ○ 東京都医療的ケア児支援センター（令和4年9月開設、都受託事業）で、医療的ケア児の在宅療養への円滑な移行に向けて、医療的ケア児やその家族が、児の心身の状況に応じた適切な支援を受けられるよう相談支援を行った。 <p>⇒ 障害者合併症医療や障害者歯科医療を着実に提供したほか、地域への技術支援やレスパイト入院対応、医療的ケア児支援センターでの相談支援等、様々な形で障害者を含む在宅療養患者を支援したことは高く評価できる。</p>	

項目	年 度 計 画
11	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>サ 総合診療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合診療医を安定的に確保し、総合診療科と専門診療科、多職種が連携しながら、入院患者の様々な症候に対して幅広い視野から包括的かつ全人的な医療を提供する。 ○ 複数の疾患を有するなど特定の診療科だけでは対応が難しい患者を積極的に受け入れ、患者に内在する多様な疾患に適切に対応する。 ○ 様々な症候に対して適切な初期診療と継続的な診療を提供できる総合診療医について、大学との人材交流のほか、地域の医療機関と連携しながら確保・育成に取り組む。
<p>評 定 : B (年度計画を概ね順調に実施している)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合診療科において、特定の診療科だけでは対応が難しい患者や、複数疾患を有する新型コロナ患者にも対応した。また、総合診療科のない病院においても、内科に総合診療の役割を担う医師を置くことで、同様の取組を実施した。 ○ 東京医師アカデミーにおける総合診療科専門研修プログラムにより医師の確保・育成に取り組む、総合診療医の採用につなげた。 ○ 都における総合診療体制を充実・強化するため、「都立病院における総合診療医の育成・活用方針」を策定した。都立病院の臨床現場を活用して人材育成を行うとともに、将来的に育成した人材を地域に輩出することを目指しており、この方針では、令和5年度以降の育成に向けた具体的取組を明確化した。 <p>⇒ 総合診療科において新型コロナ患者に対応したほか、方針策定により目的や今後の取組を明確化したことは評価できる。引き続き、総合診療科の充実と総合診療医の確保・育成に努めてほしい。</p>	

項目	年 度 計 画																																													
12	<p>(2) 各医療の提供</p> <p>シ その他の行政的医療、高度・専門的医療等の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の機能に応じて、一般医療機関では対応が難しい行政的医療をはじめとする質の高い医療を適切に提供する。 ○ 東京都立小児総合医療センターにおいて、重症及び難治性等の多様なアレルギー疾患患者に対し、複数の診療科が連携して、迅速な診断や適切な治療等、専門性の高い医療を提供する。 ○ 東京都立大久保病院において、地域の医療機関との連携を強化し、生体腎移植が必要な患者の積極的な受入れを推進する。 ○ 外国人向け医療コーディネーターや医療通訳の配置等により、外国人が安心して適切な医療を受けられる環境を整備する。 ○ 高齢化に伴い増加が予想される脳血管疾患医療や心疾患医療、消化器医療など、地域で必要とされる医療の提供体制を強化し、適切に医療を提供する。 ○ 不妊に対する心理的、経済的な不安や悩みに対する相談支援を実施するとともに、患者ニーズや地域の状況等を踏まえながら、不妊治療の取組の方向性を検討する。 ○ 内視鏡手術や腹腔鏡下手術、血管内治療など、身体に負担が少ない低侵襲な医療を提供する。 ○ 先進的な医療機器を活用して、低侵襲なロボット支援下手術を推進する。 ○ 新たな医療課題や地域の医療課題が生じた際に、各病院の機能に応じて積極的に対応する。 <p>目標値（令和4年度）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>全身麻酔手術件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>656</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>1,542</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>2,406</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>896</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>1,032</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>2,405</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>3,786</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>876</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>1,090</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>1,013</td></tr> <tr><td>東京都立神経病院</td><td>238</td></tr> <tr><td>東京都立小児総合医療センター</td><td>3,000</td></tr> </tbody> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>ロボット支援下手術件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>180</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>40</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>127</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>225</td></tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>生体腎移植件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>7</td></tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table>	<p>全身麻酔手術件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>656</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>1,542</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>2,406</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>896</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>1,032</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>2,405</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>3,786</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>876</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>1,090</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>1,013</td></tr> <tr><td>東京都立神経病院</td><td>238</td></tr> <tr><td>東京都立小児総合医療センター</td><td>3,000</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（件）	東京都立広尾病院	1,200	東京都立大久保病院	656	東京都立大塚病院	1,542	東京都立駒込病院	2,406	東京都立豊島病院	896	東京都立荏原病院	1,032	東京都立墨東病院	2,405	東京都立多摩総合医療センター	3,786	東京都立多摩北部医療センター	876	東京都立東部地域病院	1,090	東京都立多摩南部地域病院	1,013	東京都立神経病院	238	東京都立小児総合医療センター	3,000	<p>ロボット支援下手術件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>180</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>40</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>127</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>225</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（件）	東京都立駒込病院	180	東京都立豊島病院	40	東京都立墨東病院	127	東京都立多摩総合医療センター	225	<p>生体腎移植件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（件）	東京都立大久保病院	7
	<p>全身麻酔手術件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>656</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td>1,542</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>2,406</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>896</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td>1,032</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>2,405</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>3,786</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td>876</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td>1,090</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td>1,013</td></tr> <tr><td>東京都立神経病院</td><td>238</td></tr> <tr><td>東京都立小児総合医療センター</td><td>3,000</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（件）	東京都立広尾病院	1,200	東京都立大久保病院	656	東京都立大塚病院	1,542	東京都立駒込病院	2,406	東京都立豊島病院	896	東京都立荏原病院	1,032	東京都立墨東病院	2,405	東京都立多摩総合医療センター	3,786	東京都立多摩北部医療センター	876	東京都立東部地域病院	1,090	東京都立多摩南部地域病院	1,013	東京都立神経病院	238	東京都立小児総合医療センター	3,000	<p>ロボット支援下手術件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td>180</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td>40</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td>127</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td>225</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（件）	東京都立駒込病院	180	東京都立豊島病院	40	東京都立墨東病院	127	東京都立多摩総合医療センター	225						
	病院名	目標値（件）																																												
	東京都立広尾病院	1,200																																												
	東京都立大久保病院	656																																												
	東京都立大塚病院	1,542																																												
	東京都立駒込病院	2,406																																												
	東京都立豊島病院	896																																												
	東京都立荏原病院	1,032																																												
	東京都立墨東病院	2,405																																												
	東京都立多摩総合医療センター	3,786																																												
	東京都立多摩北部医療センター	876																																												
東京都立東部地域病院	1,090																																													
東京都立多摩南部地域病院	1,013																																													
東京都立神経病院	238																																													
東京都立小児総合医療センター	3,000																																													
病院名	目標値（件）																																													
東京都立駒込病院	180																																													
東京都立豊島病院	40																																													
東京都立墨東病院	127																																													
東京都立多摩総合医療センター	225																																													
<p>生体腎移植件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">病院名</th> <th style="width: 50%;">目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（件）	東京都立大久保病院	7																																										
病院名	目標値（件）																																													
東京都立大久保病院	7																																													

評 定 : B (年度計画を概ね順調に実施している)

- 東京都アレルギー疾患医療拠点病院である小児総合医療センターにおいて、アレルギー専門医と小児アレルギー疾患専門看護師とが協力して診察を行うなど、専門性の高い医療を提供した。
 - 各都立病院に外国人向け医療コーディネーターや院内通訳、外国語相談員を新たに配置するなど、外国人がより安心して医療を受けられる環境を整備した。
 - 急性大動脈スーパーネットワークや東京都CCUネットワークに参画し、高齢化に伴い増加が予想される脳血管疾患医療、心疾患医療等を適切に提供した。
 - 内視鏡手術、腹腔鏡下手術、血管内治療、ロボット支援下手術等、様々な低侵襲な医療の提供に取り組んだ。
- ⇒ アレルギー疾患、脳血管疾患、心疾患等の幅広い疾患に対応したほか、外国人向け医療コーディネーター等の新規配置やロボット支援下手術等に取り組んだことは評価できる。引き続き、様々な行政的医療の提供と新たな医療課題・地域の医療課題への対応に努めてほしい。

2 災害や公衆衛生上の緊急事態への優先した対応

災害や公衆衛生上の緊急事態に対して、人的・物的資源を最大限活用し、各病院等が機動的に対応していくとともに、都の方針の下、都や関係機関と連携し、優先して取り組む。

項目	年 度 計 画
13	<p>(1) 災害医療における緊急事態への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急事態においては、都の方針の下、都や区市町村、地域の医療機関等と連携しながら、各病院の役割に応じて重症者等を積極的に受け入れるなど、求められる災害医療を確実に提供する。 ○ 災害発生の状況に応じて、医師や看護師等の人員配置の見直しを機動的に行うことなどにより、効率的・効果的な患者受入体制を整備する。 ○ 都内だけでなく都外における大規模災害発生時にも、都の要請の下、DMATやDPATの派遣を行う。 ○ 災害に対する緊急対応が生じた場合は、取組を検証する体制を構築し、都と適宜情報共有しながら、求められる取組等について法人全体で検討を行う。 <p>(2) 感染症医療における緊急事態への対応</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症について、都の方針の下、都や保健所等の関係機関と連携しながら、積極的な患者の受入れなど法人全体で求められる対応を確実に実施する。 ○ 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、医師や看護師等の人員配置を適宜見直すとともに、各病院の診療体制の再編などにより専用病床を柔軟に確保し、効率的・効果的な感染症医療提供体制を整備する。 ○ 新型コロナウイルス感染症の治療後や療養後の息苦しさ、呼吸機能をはじめとした後遺症の相談に着実に対応する。 ○ 新型コロナウイルス感染症への取組を検証する体制を構築し、都と適宜情報共有しながら、求められる取組等について法人全体で検討を行う。 ○ 都や保健所等と連携し、地域等のニーズに応じて、クラスターが発生した地域の施設等に職員を派遣して感染管理に関する指導・助言等を行うなど、地域の施設等における感染拡大防止のための支援を行う。 <p>イ その他の新興・再興感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ その他の新興・再興感染症が発生した際は、都の方針の下、都や保健所等の関係機関と連携しながら、感染症指定医療機関を中心に法人全体で求められる感染症医療を確実に提供する。

評 定 : S (年度計画を大幅に上回って実施している)

- 都の派遣要請に応じて、東京DMATを大規模事故等の都市型災害の現場に出動させた。
 - 新型コロナ対応については、各都立病院の有する機能や役割に応じて、重症・中等症の患者や、コロナが軽症でも基礎疾患のある患者、小児、妊婦、透析、精神疾患のある患者等を積極的に受け入れた。また、オミクロン株の特性を踏まえ、重症化リスクの高い高齢者への対応力を強化するため、都との協定に基づき、高齢者等医療支援型施設(府中)を運営し、介護が必要な多くの高齢患者を受け入れた。
 - 8病院の患者・地域サポートセンターに設置している「コロナ後遺症相談窓口」においてコロナ後遺症の相談に対応し、症状に応じて医療機関につなげるなどの支援を行った。
 - エムボックス(サル痘)の相談対応及び診療体制の整備や、「東京都とくべつ検査(梅毒即日検査)」へのスタッフ派遣等、新型コロナ以外の感染症へも都の方針の下で対応した。
 - 地域の施設等でのクラスター発生時には、患者の積極的な受入れや職員の派遣、施設内での感染状況に応じた感染管理指導等を実施し、地域医療へ貢献した。
- ⇒ 都の派遣要請に応じて、大規模事故等の都市型災害の現場に東京DMATを出動させたほか、新型コロナ対応においては、重症・中等症の患者や、コロナが軽症でも基礎疾患のある患者、小児、妊婦、透析、精神疾患のある患者等を積極的に受け入れたほか、高齢者等医療支援型施設の運営や後遺症相談窓口の開設等の取組に加え、エムボックスや梅毒など、都の方針の下、緊急事態に様々な形で取り組んだことは大いに評価できる。

3 地域医療の充実への貢献

項目	年度計画
14	<p>(1) 地域包括ケアシステム構築に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院に設置する運営協議会などを通じて地域ニーズを適切にとらえるとともに、地域の医療機関等との連携の強化を図り、地域包括ケアシステムの構築を支援する。 ○ 各病院が有する医療資源や特性、強みを生かしながら、地域の医療機関との機能分担と連携を一層推進し、患者の紹介、返送・逆紹介を積極的に進める。 ○ 地域の医療機関等とのICTを活用した情報共有や地域の医療従事者に向けた研修等を通じて連携を一層強化する。 ○ 各病院が保有する高度医療機器について、ニーズを踏まえながら地域の医療機関との共同利用に取り組む。 ○ 病院救急車を有する病院において、地域への周知を進め、自力移動が困難な在宅患者等の搬送を行うなど、積極的に活用する。 ○ 地域の医療機関とも連携し、高齢化に伴い増加が予想される脳卒中や心筋梗塞など、地域において不足する医療に着実に対応する。 ○ 地域の医療機関等との連携を強化し、在宅療養患者の急性増悪時における受入れに着実に対応する。 ○ 患者・地域サポートセンターの患者支援機能と地域支援機能の充実・強化を図る。 ○ 患者やその家族等の様々な不安の解消を図るため、看護相談や医療福祉相談など、多様なニーズに応じた相談支援を実施する。 ○ 各病院の機能に応じ、がん相談や外国語による医療相談など専門的な支援に取り組む。 ○ 退院後も安心して地域で療養できるよう、退院後の服薬指導などの支援を実施する。 ○ 地域の医療機関や訪問看護ステーション等との連携や情報共有を一層推進し、地域における療養生活を支援する。 ○ 東京総合医療ネットワークなどの地域医療ネットワークや医療介護用SNSの活用を進める等、ICTを活用した患者情報の共有を推進し、在宅療養生活を支える地域の医療機関・介護事業者等を支援する。 ○ 入院初期の段階からの入院サポートや退院後の地域生活を見据えた転退院支援を行い、円滑な在宅移行を支援する取組を充実する。 ○ 地域のニーズに応じて、地域の医療機関等に医師、看護師、薬剤師等の多様な専門人材を派遣し、技術支援を行う。 ○ 各病院が行う専門研修等への地域人材の受入れや地域と連携した公開講座の開催に積極的に取り組み、地域医療を支える人材の育成を支援する。

目標値（令和4年度）

	紹介率（％）	返送・逆紹介率（％）
東京都立広尾病院	60.1	50.3
東京都立大久保病院	60.3	82.4
東京都立大塚病院	76.1	63.1
東京都立駒込病院	72.6	54.8
東京都立豊島病院	70.0	79.6
東京都立荏原病院	74.6	87.6
東京都立墨東病院	71.1	64.5
東京都立多摩総合医療センター	81.6	103.5
東京都立多摩北部医療センター	69.0	84.2
東京都立東部地域病院	94.4	93.7
東京都立多摩南部地域病院	88.3	98.3
東京都立神経病院	38.5	—
東京都立小児総合医療センター	69.8	62.9
東京都立松沢病院	55.2	67.9
東京都立がん検診センター	—	—
法人計	73.0	76.0

紹介率（％）＝紹介患者数（初診）／初診患者数
 －（救急搬送患者数＋夜間休日の救急患者数
 ＋健診受診者数）

返送・逆紹介率（％）＝逆紹介患者数／初診患者数
 －（救急搬送患者数
 ＋夜間休日の救急患者数
 ＋健診受診者数）

評 定 ： B（年度計画を概ね順調に実施している）

- これまで設置していなかった病院にも新たに運営協議会を設置・開催するなど、全病院等で地域の関係者の意見を聞きながら運営を行う体制を整備し、新型コロナ対応や各都立病院の重点医療、地域との連携に関して意見交換を行った。
- 各都立病院等において、連携訪問やCT・MRIなどの高度医療機器の共同利用を通じて、地域の医療機関との連携強化を図り、患者の紹介、返送・逆紹介を積極的に行った。
- 急性大動脈スーパーネットワークや東京都CCUネットワークに参画し、新型コロナと通常医療との両立を踏まえながら、急性心血管疾患に対し適切な医療を提供した。
- 地域医療連携の推進に向け、患者支援センター等を再構築し、全病院に患者支援、入院支援、地域連携・在宅療養支援の3つの機能を有する患者・地域サポートセンターを設置した。各都立病院において、入院時のカンファレンスや様々な相談業務の実施など、患者支援及び地域支援に取り組んだ。
- 地域の医療機関等に対し、研修会や出前講座の開催による地域医療を支える人材の育成支援や、訪問看護同行支援などによる技術支援を実施した。
 - ⇒ 患者・地域サポートセンターを設置し、在宅移行や在宅療養を支援する取組を強化したほか、地域の医療機関に対する研修会や訪問看護同行支援などによる人材育成や技術支援などを実施したことは評価できる。引き続き、地域の医療機関との連携等により、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでほしい。

項目	年 度 計 画
15	<p>(2) 健康増進及び疾病予防に向けた普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 疾患や治療・予防に関する情報をWEBサイトや広報誌を通じて積極的に発信するとともに、都民を対象とした公開講座を開催し、医療やフレイル予防等に関する知識の普及や啓発に努める。 ○ 地域の自治体が行う健康増進施策と連携した疾病予防を推進するほか、Tokyoヘルスケアサポーター養成講座を開催し、健康づくりや病気の予防等の普及啓発を推進する。
<p>評 定 : B (年度計画を概ね順調に実施している)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各都立病院等において、各病院等の機能や特性に応じた疾患や治療・予防に関する情報をホームページや広報誌等を通じて発信した。また各施設のイベント情報を集約し、法人本部ホームページやTwitterで発信した。 ○ 公開講座について、新型コロナの流行を受け、一部で開催を見送ったものの、WEB会議ツールも活用しながら、医療やフレイル予防等に関する知識の普及や啓発に努めた。 ○ Tokyoヘルスケアサポーター養成講座について、新型コロナの流行により開催は見送ったが、過去の動画を法人本部ホームページに集約し、過去の配信動画の再発信を行った。 <p>⇒ 公開講座やTokyoヘルスケアサポーター養成講座について、新型コロナの影響により開催できない取組もあったが、ホームページ等を活用して発信するなど、工夫したことは評価できる。引き続き、都民に対する健康づくりや病気の予防等の普及啓発に取り組んでほしい。</p>	

4 安全で安心できる質の高い医療の提供

項目	年 度 計 画
16	<p>(1) 患者中心の医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多職種が連携して、栄養サポートチームや緩和ケアチームなどのチーム医療を推進し、患者中心の質の高い医療を提供する。 ○ 適切なインフォームドコンセント等により、患者が自ら様々な意思決定を行えるよう支援する。 ○ クリニカルパスを積極的に活用するとともに、適時適切な見直しを行うことで医療の標準化を図り、良質な医療を効率的に提供する。 ○ 患者や地域のニーズを踏まえ、外来化学療法を平日夜間に拡大するなど、患者の治療と生活の両立を支援する取組を推進する。 ○ 患者・地域サポートセンターの患者支援機能や地域支援機能の充実・強化を図り、患者の円滑な入院・転退院を適切に支援する。 ○ 患者やその家族等の様々な不安の解消を支援するため、看護相談や医療福祉相談など、多様なニーズに応じた相談支援体制を充実する。 ○ 退院後の服薬指導など、地域生活も見据えた支援を実施する。 ○ 東京総合医療ネットワークなどの地域医療ネットワークや医療介護用SNSの活用を進める等、ICTを活用した患者情報の共有を推進し、地域の医療機関等との連携を強化することで、円滑な転退院や患者が住み慣れた身近な地域で安心して適切な医療を受けられるよう支援する。 ○ 患者満足度調査の実施及び分析により患者ニーズの把握に努め、接遇能力の向上を図るなど、患者サービスの改善・向上に向けた取組を推進する。 ○ 施設の整備や改修の際、また患者の声などを踏まえながら、各施設の状況に応じたデジタルサイネージの活用やユニバーサルデザインの導入などにより、高齢者や障害者、外国人など、誰もが安心して適切な医療を受けられる環境整備に取り組む。 ○ 診察待ち時間の有効活用に向けて、患者が自身のスマートフォン等で呼び出し情報等を確認できるアプリを導入するなど患者の利便性向上に向けた取組を推進する。 ○ 病院内でWi-Fiの導入を推進し、患者ニーズに応えられるネットワークの環境を整える。 ○ 広報誌やWEBサイト、SNSの活用、ボランティアと協力した院内外でのイベント開催や地域のイベントへの参加などにより、法人や各病院等の情報を積極的に発信する。 ○ 法人本部に戦略的広報を担う部署を設置し、民間企業や自治体等の多様な広報媒体を活用するなどにより、都民にわかりやすく発信力のある効果的な広報活動を推進する。

16

目標値（令和4年度）

患者満足度

病院名	目標値(入院) (%)	目標値(外来) (%)
東京都立広尾病院	79.7	83.8
東京都立大久保病院	83.0	78.0
東京都立大塚病院	85.3	80.3
東京都立駒込病院	94.6	85.6
東京都立豊島病院	90.7	80.8
東京都立荏原病院	87.7	81.6
東京都立墨東病院	86.7	73.5
東京都立多摩総合医療センター	91.9	81.0
東京都立多摩北部医療センター	89.6	76.2
東京都立東部地域病院	87.2	78.0
東京都立多摩南部地域病院	87.1	78.2
東京都立神経病院	87.4	—
東京都立小児総合医療センター	70.4	86.0
東京都立松沢病院	53.9	83.7
東京都立がん検診センター	—	80.1

評 定 : B (年度計画を概ね順調に実施している)

- 各都立病院において、栄養サポートチーム、精神科リエゾンチーム、感染対策チームなど多職種が協働して質の高い医療の提供に取り組んだほか、クリニカルパスを積極的に活用し、クリニカルパス委員会等において評価、見直しを行うことで医療の標準化を図り、良質な医療を効率的に提供するように努めた。
 - 各都立病院において、アドバンス・ケア・プランニングに基づいた患者の意思決定支援に取り組んだ。
 - 墨東病院では、通院治療センターの運用時間について、毎週金曜日に2時間延長し、就労と治療の両立を支援したほか、運用病床の増床及び看護師の増員により、待ち時間を減少させた。
 - 各都立病院の患者・地域サポートセンターにおいて、入院前から退院後までの療養相談や地域の訪問診療医、訪問看護師等とのカンファレンスなど情報交換等を実施し、円滑な入退院支援につなげたほか、東京総合医療ネットワークへの参画や医療介護用SNSの導入などを通じて、患者情報の共有による地域医療機関等との連携強化に取り組んだ。
 - 患者満足度調査について、全病院共通の項目を設定し調査を行い、目標達成については入院調査では14施設中3施設だが、外来調査では14施設中9施設で達成した。
 - 広報アドバイザーを迎え、「病院広報と何か」を学び、既存発刊物や掲示物の見直しに着手するとともに、「都立病院におけるPRの考え方」「ポスター・チラシのガイドライン」を作成し、各都立病院に周知した。
- ⇒ チーム医療の推進や、患者・地域サポートセンターを中心とした患者支援や地域支援の充実・強化、医療介護用SNS等を通じた患者情報の共有による地域医療機関等との連携強化のほか、墨東病院の通院治療センターでの待ち時間の減少等、患者サービスの充実に向けて取り組んだことは評価できる。引き続き、患者満足度の向上を目指し、患者中心の医療の推進に向けて取り組んでほしい。

項目	年 度 計 画
17	<p>(2) 質の高い医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の特性に応じて、医療の質を可視化する臨床評価指標であるQ I（クオリティ・インディケーター）を設定し、P D C Aサイクルに基づく継続的な改善の取組を実施するとともに、取組状況を積極的に発信し、医療の質の向上に取り組む。 ○ 各病院における医療安全推進委員会の運営などを通じて、医療安全に関する情報共有の推進や取組の検討及び効果分析等を行う。 ○ 医療安全に関するヒヤリハット事例の集積やインシデント・アクシデント・レポートの分析などにより医療安全管理体制を確保し、実効性の高い予防策・再発防止策の構築に着実に取り組む。 ○ 医療安全推進週間を設定し、各病院で医療安全の向上に資する取組を行うとともに、計画的な医療安全研修の実施などにより、職員一人ひとりの医療安全に対する一層の意識向上に取り組む。 ○ リスクマネジメント研修などにより、各病院等の医療安全対策を担う人材育成に積極的に取り組む。 ○ 地域のニーズに応じ、地域の医療機関等への医療安全研修の実施や院内研修への地域人材の受入れ等を行い、地域全体の医療安全意識の更なる向上に寄与する。 ○ 感染対策の取組を強化し、感染源や感染経路等に応じた予防策を検討するなど、院内感染予防に向けた取組を着実に推進する。 ○ 国の薬剤耐性（AMR）対策を踏まえた適切な薬剤耐性対策を実施する。 ○ 地域の医療機関との連携を強化し、地域のニーズに応じた医療機関向けの感染管理支援など、地域全体の院内感染対策の向上に寄与する。
評 定 : A（年度計画を上回って実施している）	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊島病院、多摩総合医療センター及び松沢病院が一般社団法人日本病院会のQ Iプロジェクトに参加したほか、荏原病院が令和5年1月から日本医療機能評価機構の医療の質可視化プロジェクトに参加した。 ○ 新型コロナの流行の影響もあり、地域医療機関との医療安全研修について令和4年度は未実施だったが、各都立病院では、医療安全担当者を対象としたリスクマネジメント研修の実施により、医療安全を担う人材の育成に取り組んだ。 ○ 個々の医療機関における感染防止対策の取組や地域の医療機関等が連携して実施する感染症対策の取組を推進するための「感染対策向上加算Ⅰ」を13病院で取得し、院内の感染対策に加えて、地域の医療機関と連携し合同カンファレンスの開催や感染管理指導を行った。多摩北部医療センター及び豊島病院においては、保健所や医療機関等の依頼によりクラスターが発生した施設等に感染管理に関する指導助言を行うなど、地域における院内感染対策の向上に寄与した。 <p>⇒ 新たに荏原病院が医療の質可視化プロジェクトに参加するなど、質の高い医療の提供に向けて取り組んだほか、院内における感染対策に加えて、地域の医療機関との合同カンファレンスの開催やクラスター発生施設等への感染管理指導を通じて地域における院内感染対策の向上に寄与したことは高く評価できる。</p>	

5 診療データの活用及び臨床研究・治験の推進

項目	年 度 計 画						
18	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法人本部に教育・研究推進センターを設置し、各病院の臨床研究や治験の受入れを支援する。 ○ 国家戦略特区における保険外併用療養等の特例を活用した先進医療の提供などを通じて、医療の質の向上に貢献する。 ○ 各病院が持つ様々な診療データの集積やその分析、活用に向けた検討を進め、更なる医療の質の向上に取り組む。 ○ 研究機関や大学、企業等との人材交流が可能となる人事・給与制度を構築し、多様な主体と連携した研究、研究マインドを持った人材の育成を推進する。 ○ 外部資金を受け入れやすくする会計制度を構築し、臨床研究等を推進する。 ○ 各病院等の倫理委員会を適切に運営し、国の法令やガイドラインに則り、倫理面及び安全面に十分に配慮した質の高い臨床研究等を推進する。 <p>目標値（令和4年度）</p> <p>治験・受託研究実施数</p> <table border="1" data-bbox="336 987 871 1095"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>目標値（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京都立駒込病院</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>東京都立小児総合医療センター</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	目標値（件）	東京都立駒込病院	150	東京都立小児総合医療センター	55
病院名	目標値（件）						
東京都立駒込病院	150						
東京都立小児総合医療センター	55						

評 定 : B（年度計画を概ね順調に実施している）

- 各都立病院における臨床研究や治験の受入れを支援するため、教育・研究推進センターを設置したほか、臨床研究の一層の推進に向けて、院内の臨床研究等を担当する臨床研究担当副院長を選任した。
 - 令和4年8月に墨東病院と明治薬科大学とで、双方が有する資源を有効に活用することにより、学術研究や教育、社会貢献等の推進に資することを目的として包括連携協定を締結し、12月には、臨床現場で得られる知見を活用した薬学研究を推進するため、墨東病院内に連携研究センターを設置した。
 - 小児総合医療センターにおいて、国家戦略特区を活用した先進医療や医師主導治験といった質の高い臨床試験を推進した。
 - 看護及びコメディカル向けに東京都公立大学法人東京都立大学と共催でOU講座として臨床研究研修を4回開講するなど、臨床研究の基本概念や実施の際に必要な知識等の定着を図った。
 - 診療データの集積・活用について、多摩総合医療センターへのデータプラットフォーム導入に向けた準備を進めた。
- ⇒ 臨床研究や治験の推進に向けて、外部団体との連携による体制の強化や人材の育成に取り組んだことは評価できる。引き続き、臨床研究や治験の推進のほか、データプラットフォーム導入による診療データの活用により、更なる医療の質向上に取り組んでほしい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	年 度 計 画
19	<p>1 効率的・効果的な法人運営体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 迅速かつ柔軟な人材確保が可能となる人事・給与制度等を構築し、医療ニーズに応じた効率的・効果的な病院運営を行う。 ○ 機動的な医療機器の整備等が可能となる会計制度等を構築し、医療課題に応じた効率的・効果的な病院運営を行う。 ○ 病院現場の課題やニーズ等を適切に把握して法人の運営方針や意思決定に適切に反映させる体制を構築し、各病院等が連携しながら法人の運営方針に沿った自律性・機動性の高い病院運営を行う。 ○ 医師の採用や医療機器の整備などの権限を病院長等に適切に付与し、診療報酬改定や医療課題等に迅速かつ柔軟に対応する。 ○ 法人本部に戦略推進室を設置して各病院の運営支援等を行うとともに、各病院の事務局に計画課を設置して、患者ニーズや地域の医療ニーズ等の分析を行うなどにより、トップマネジメントを支援する体制を構築する。 ○ 法人本部に統括事務センター、ICT推進センター、教育・研究推進センターを設置して業務の集約化や業務フローの見直しを図り、効率的・効果的な業務執行体制を構築する。 ○ 人事・給与、勤怠管理等のシステム間連携による入力業務の効率化や科研費などの外部資金管理のシステム化などにより、業務改善を推進する。 ○ 庶務事務に関する諸手続きの電子化や電子決裁などにより、ペーパーレス化を推進する。 ○ 公平性、透明性を確保しつつ契約の集約化や事務手続きの簡素化を図り、業務の効率化を推進する。 <p>2 人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員が有する能力や専門性を最大限生かすことができる人事制度の構築や採用困難な人材を確保することが可能となる給与制度を構築し、人材を安定的かつ機動的に確保する。 ○ 専門性を高め、キャリアアップに資する資格取得支援制度等により、人材育成に取り組む。 ○ 高度・専門的医療等の提供に必要な専門人材を時機を逸することなく採用し、医療課題や患者ニーズに機動的に対応する。 ○ 幹部候補を対象とした研修などにより、将来の病院運営を担う人材の計画的な育成に取り組む。 ○ 東京医師アカデミーの運営等により、総合診療能力と専門臨床能力をあわせ持つ質の高い医師の確保・育成に取り組む。 ○ 大学や地域の医療機関と連携しながら、入院患者の様々な症候への対応や特定の診療科だけでは対応が難しい患者に対応できる総合診療医の確保・育成に取り組む。

- 東京看護アカデミーの運営等により、習熟段階に応じたキャリアアップを支援するなど、看護職員の確保・育成に取り組む。
- 各職種の専門性に応じた研修の実施や資格取得に係る学会参加費などの支援などにより専門性を一層高め、コメディカル職員の確保・育成に取り組む。
- 患者サービス向上の取組の企画力や病院経営に関する知識を有し、診療情報の分析や診療報酬請求事務などの経験を有する事務職員の積極的な確保に取り組む。
- 診療報酬に関する研修や経営管理に必要な資格の取得支援などにより、専門性の高い事務職員の育成に取り組む。
- テーマ別改善運動の取組等を通じて、職員の意識改革や職場の活性化を促し、積極的に業務改善に取り組む組織風土を醸成する。

目標値（令和4年度）

新卒看護師離職率 9%以内

3 効率的・効果的な業務運営

(1) 働きやすい勤務環境の整備

- 職員の専門性や能力を適切に反映した人事・給与制度、職員の業績や専門性を適切に評価する人事考課制度を構築して、意欲を持って業務に取り組むことができる環境を整備する。
- 職員のライフスタイルやライフステージに合わせた勤務時間制度、勤務形態等を構築し、職員のライフ・ワーク・バランスに配慮した、働きやすい環境を整備する。
- 人事・給与、勤怠管理等のシステム間連携による入力業務の効率化や科研費などの外部資金管理のシステム化などによる業務改善を推進する。
- 医師事務作業補助者等の拡充などよりタスクシフティングを推進し、職員が専門性を一層発揮できる生産性の高い職場づくりにより、働き方改革を推進する。
- 特に医師については、国の働き方改革の方針を踏まえ、勤務負担軽減や健康維持・増進に取り組む。

(2) 弾力的な予算執行

- 中期計画の期間内で弾力的な予算執行が可能となる会計制度を構築し、効率的・効果的な病院運営を行う。
- 医師の採用や医療機器の整備などの権限を病院長等に適切に付与し、診療報酬改定や医療課題等に柔軟・迅速に対応する。

評 定 : A (年度計画を上回って実施している)

- 法人本部戦略推進室と各都立病院等の計画課が、意見交換会等を通じて各病院等の運営課題を共有し、課題の改善に取り組んだ。
- 法人運営の基盤構築に向けた4つのプロジェクトを立ち上げ法人本部と病院が一体となって取組を推進したほか、有識者会議等の設置や、国立大学病院長会議及びJCHO（地域医療機能推進機構）との共同調達事業参画基本合意書の締結、近隣他独法との課題共有による業務運営の改善などにより、効率的・効果的な法人運営を目指す取組を推進した。
- 日本看護協会の調査によると、全国的に新卒看護師の離職率が増加しており、「新型コロナの影響が一定程度あったと考えられる」としている。都立病院では、新型コロナ対応に特に注力したことから、新卒看護師離職率にもその影響が出ているものと考えられる。
- 確保困難な診療科医師や希少職種等に対して、採用困難度を踏まえて上乘せが可能な人材確保手当の制度を新設し、医療提供体制の充実に不可欠な専門人材の確保を推進した。
- 育児に限定しない短時間勤務の常勤職員や、地域と医療人材を共有するための週4日勤務の常勤職員等を制度化するなど、柔軟な雇用形態や勤務時間設定等を導入し、職員一人ひとりのライフステージに合わせた働きやすい環境を整備した。
- 契約締結権限や医師、看護師（有資格者）の採用選考の権限を院長等へ付与することで、診療報酬改定や病院運営上の課題に迅速に対応できる体制を整備した。
⇒ 地方独立行政法人制度のメリットである人事や予算の弾力的な運用等による効率的・効果的な体制を構築したほか、令和5年度も見据えながら、法人運営の基盤構築に向けて新たに4つのプロジェクトを推進したことは高く評価できる。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	年 度 計 画																																																			
20	<p>1 財務内容の改善</p> <p>○ 法人の役割を将来にわたり安定的かつ継続的に果たし、都の医療政策に貢献し続けていくため、収入の確保と適切な支出の徹底に努め、財務内容の改善に着実に取り組む。</p> <p>目標値（令和4年度）</p> <p>経常収支比率 98.6%</p> <p>医業収支比率 78.2%</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">病床利用率（%）</th> <th style="text-align: center;">平均在院日数（日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>東京都立広尾病院</td><td style="text-align: center;">57.7</td><td style="text-align: center;">10.5</td></tr> <tr><td>東京都立大久保病院</td><td style="text-align: center;">73.0</td><td style="text-align: center;">10.7</td></tr> <tr><td>東京都立大塚病院</td><td style="text-align: center;">84.7</td><td style="text-align: center;">10.1</td></tr> <tr><td>東京都立駒込病院</td><td style="text-align: center;">68.8</td><td style="text-align: center;">12.3</td></tr> <tr><td>東京都立豊島病院</td><td style="text-align: center;">62.5</td><td style="text-align: center;">10.4</td></tr> <tr><td>東京都立荏原病院</td><td style="text-align: center;">53.3</td><td style="text-align: center;">11.7</td></tr> <tr><td>東京都立墨東病院</td><td style="text-align: center;">77.7</td><td style="text-align: center;">11.7</td></tr> <tr><td>東京都立多摩総合医療センター</td><td style="text-align: center;">90.8</td><td style="text-align: center;">10.6</td></tr> <tr><td>東京都立多摩北部医療センター</td><td style="text-align: center;">68.5</td><td style="text-align: center;">9.6</td></tr> <tr><td>東京都立東部地域病院</td><td style="text-align: center;">68.9</td><td style="text-align: center;">8.6</td></tr> <tr><td>東京都立多摩南部地域病院</td><td style="text-align: center;">74.8</td><td style="text-align: center;">7.6</td></tr> <tr><td>東京都立神経病院</td><td style="text-align: center;">72.3</td><td style="text-align: center;">19.5</td></tr> <tr><td>東京都立小児総合医療センター</td><td style="text-align: center;">72.5</td><td style="text-align: center;">13.9</td></tr> <tr><td>東京都立松沢病院</td><td style="text-align: center;">71.3</td><td style="text-align: center;">61.8</td></tr> <tr><td>東京都立がん検診センター</td><td style="text-align: center;">—</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td>法人計</td><td style="text-align: center;">72.0</td><td style="text-align: center;">12.3</td></tr> </tbody> </table>		病床利用率（%）	平均在院日数（日）	東京都立広尾病院	57.7	10.5	東京都立大久保病院	73.0	10.7	東京都立大塚病院	84.7	10.1	東京都立駒込病院	68.8	12.3	東京都立豊島病院	62.5	10.4	東京都立荏原病院	53.3	11.7	東京都立墨東病院	77.7	11.7	東京都立多摩総合医療センター	90.8	10.6	東京都立多摩北部医療センター	68.5	9.6	東京都立東部地域病院	68.9	8.6	東京都立多摩南部地域病院	74.8	7.6	東京都立神経病院	72.3	19.5	東京都立小児総合医療センター	72.5	13.9	東京都立松沢病院	71.3	61.8	東京都立がん検診センター	—	—	法人計	72.0	12.3
		病床利用率（%）	平均在院日数（日）																																																	
	東京都立広尾病院	57.7	10.5																																																	
	東京都立大久保病院	73.0	10.7																																																	
	東京都立大塚病院	84.7	10.1																																																	
	東京都立駒込病院	68.8	12.3																																																	
	東京都立豊島病院	62.5	10.4																																																	
	東京都立荏原病院	53.3	11.7																																																	
	東京都立墨東病院	77.7	11.7																																																	
	東京都立多摩総合医療センター	90.8	10.6																																																	
	東京都立多摩北部医療センター	68.5	9.6																																																	
	東京都立東部地域病院	68.9	8.6																																																	
	東京都立多摩南部地域病院	74.8	7.6																																																	
	東京都立神経病院	72.3	19.5																																																	
	東京都立小児総合医療センター	72.5	13.9																																																	
	東京都立松沢病院	71.3	61.8																																																	
	東京都立がん検診センター	—	—																																																	
	法人計	72.0	12.3																																																	
		<p>（1）収入の確保</p> <p>○ 令和4年度診療報酬改定に的確に対応し、各病院の特性に応じた新たな施設基準を取得するとともに、医療機能強化等を着実に実施することにより、収入の確保に努める。</p> <p>○ 医事算定業務等直営化によるノウハウを着実に蓄積するとともに、診療報酬の確実な請求や請求漏れの防止に取り組む。</p> <p>○ 地域の医療機関との病病連携や病診連携を強化し、紹介・返送・逆紹介を推進するとともに、柔軟で効率的な病床運用により、地域の患者を着実に受け入れる。</p> <p>○ 未収金の発生防止に向け、支払いに関する相談対応や支払い方法の多様化等の取組を進める。</p> <p>○ 未収金の発生後には、マニュアルに基づく速やかな催告の徹底、困難案件への適切な対応を行うなど、未収金対策に着実に取り組む。</p>																																																		
		<p>（2）適切な支出の徹底</p> <p>○ DPCデータ、診療データ等の分析や、原価計算などの活用を進め、職員のコスト意識向上を図りながら病院運営を行い、適切な支出の徹底に努める。</p> <p>○ 共同購入の対象とする医薬品の品目拡大や医療機器への拡充の検討、システム機器の買入れ・保守委託契約の集約化等の検討を進める。</p> <p>○ 交渉権入札など、新たな契約手法を導入するほか、長期継続契約の導入拡大等に取り組むなど、多様な契約手法を活用し、費用の節減に努める。</p>																																																		

評 定 : A (年度計画を上回って実施している)

- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に伴う収入計上のほか、令和4年度診療報酬改定において新設された「感染対策向上加算」や「看護師補助体制充実加算」の取得、経営担当理事の助言を受けた新規加算取得の取組など、収入の確保に努めた。
- 電子マネーやQRコード決済を未導入病院に導入完了したことにより、全病院においてクレジットカード決済、電子マネー、QRコード決済を可能としたほか、事前登録したクレジットカード情報に基づき後日自動決済される診療費後払いサービスを駒込病院で導入し会計の待ち時間をなくすなど、患者の利便性向上や未収金の発生防止に向けた取組を進めた。
- 医薬品について、全病院での共同購入を開始したほか、診療材料については、国立大学病院長会議やJCHOとの共同調達に向けて基本合意書を締結した。
- 委託業務などの長期継続契約の対象拡大に取り組んだほか、新たな契約手法として交渉権入札を導入し、費用の節減に努めた。
 - ⇒ 経常収支比率が104.1%であったほか、新設された加算の取得やキャッシュレス化の推進による未収金発生防止等の収入の確保や、スケールメリットを生かした共同購入の取組や多様な契約手法の活用による費用の節減に向けた取組を推進したことは高く評価できる。

第6 その他業務運営に関する重要事項

項目	年度計画
21	<p>1 病院運営におけるDXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ AIを搭載した画像診断支援システムの導入等により、医療の質を高め患者中心の医療を推進する。 ○ 東京総合医療ネットワークなどの地域医療ネットワークや医療介護用SNSの活用を進める等、ICTを活用した患者情報の共有を推進し、在宅療養生活を支える地域の医療機関・介護事業者等を支援する。 ○ 島しょ地域への5G回線を利用した遠隔診療の導入について支援する。 ○ 人事・給与、勤怠管理等のシステム間連携による入力業務の効率化や科研費などの外部資金管理のシステム化などにより業務改善を推進する。 ○ 庶務事務に関する諸手続きの電子化や電子決裁などにより、ペーパーレス化を推進する。 ○ 病院運営におけるDXの推進に向けて法人全体として取り組むべき計画を、都と連携しながら策定し、QOS（クオリティ・オブ・サービス）の向上に取り組む。 <p>2 施設・設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都立広尾病院の整備について、「広尾病院整備基本計画」（令和元年10月策定）及び「広尾病院及び広尾看護専門学校整備等事業実施方針」（令和3年12月策定）に基づき、PFI手法による新病院整備に向けた事業者選定等の手続きを進めていく。 ○ 多摩メディカル・キャンパスの整備について、PFI手法により外来がん検査・治療センター（仮称）及び難病医療センター（仮称）の設計等を進めていく。 ○ 東京都立多摩北部医療センターについて、老朽化した施設の改築に向けた検討を着実に進める。 ○ 各病院の老朽化の状況を適切に把握し、長寿命化を含めた修繕や施設整備手法を検討した上で、大規模整備計画を策定する。 ○ 各病院が持つ医療機能や地域の医療ニーズ、医療課題等を踏まえながら、費用対効果を十分に検討し、高額医療機器の更新計画を策定する。 <p>3 適正な業務運営の確立</p> <p>(1) 情報セキュリティ・個人情報保護の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都個人情報の保護に関する条例（平成2年東京都条例第113号）等に基づき、個人情報保護に関する規程を整備するとともに、定期的な点検活動や研修等を通じ、法人全体で個人情報保護対策を実施する。 ○ サイバーセキュリティに関する研修やセキュリティ監査等を通じて、職員一人ひとりのセキュリティ意識及びインシデント対応能力の向上を図る。 ○ 法人本部にICT推進センターを設置して情報システムの管理体制を整備し、継続的にサイバーセキュリティ強化のための対策を図るとともに、インシデント・アクシデント情報を法人全体で共有して再発防止を図るなど、サイバーセキュリティ対策に取り組む。 <p>目標値（令和4年度） 情報セキュリティ研修受講率 100%</p>

21

(2) コンプライアンスの推進

- 内部統制に関する各種規程の整備や内部統制の推進体制の構築等により、適正な業務運営を推進する。
- 各種研修の実施等により、職員一人ひとりが公的医療機関の一員として医療法（昭和23年法律第205号）をはじめとする関係法令を遵守する組織風土を醸成するとともに、内部規程の策定等により業務執行におけるコンプライアンスを徹底する。
- 医療現場の特性に応じた汚職等非行防止の研修等を実施し、職員のコンプライアンス意識を向上させる。

4 外部からの意見聴取

- 法人本部に有識者会議を設置し、外部有識者の意見を聞きながら法人運営を行う。
- 全病院等に運営協議会等を設置し、地域の関係者の意見を聞きながら病院等の運営を行う。

評 定 : B (年度計画を概ね順調に実施している)

- 墨東病院において、内視鏡センターにAIを搭載した画像診断支援システムを導入し、読影作業の効率化と診断の質の向上を図ったほか、人事・給与、勤怠管理に関して、医師や看護師等の医療従事者がこれまで紙で行ってきた休暇、超過勤務、出張等の各種申請のシステム化やシステム間相互連携を図り、事務効率を向上させた。
- 多摩北部医療センターの整備について、令和5年3月に「多摩北部医療センター整備基本構想」を策定し、整備後の病院の果たすべき役割や方向性等をまとめた。
- 「広尾病院整備基本計画」及び「広尾病院及び広尾看護専門学校整備等事業実施方針」に基づく事業者選定を進めていたが、建設費高騰等の影響により入札不調となったため、計画や方針の修正や現下の社会情勢を反映した事業費の積算等を行い、再入札に向けた準備を行った。
- 個人情報保護及びサイバーセキュリティについて、e-ラーニングによる職場の個人情報安全管理点検や情報セキュリティ研修を実施したほか、コンプライアンス推進研修の実施等により関係法令を順守する組織風土を醸成した。
- 病院運営や地域医療に精通した専門家による助言及び提言等を幅広く得ながら、機構における医療の質及び患者サービスの向上並びに効率的、効果的な病院運営を実現することを目的に有識者会議を設置・開催したほか、これまで設置していなかった病院にも新たに運営協議会を設置・開催するなど、法人本部や全都立病院等で地域の関係者等の意見を聞きながら運営を行う体制を整備した。
⇒ DX推進に向けた取組を推進したほか、適正な業務運営の確立に向けた体制整備を着実に行ったことは評価できる。引き続き、情報セキュリティ研修受講率の向上に努めるほか、有識者会議や運営協議会等で外部からの助言・提言等を今後の法人や病院の運営に生かしてほしい。